

【場所・面積】東京都八王子市、19.46ha

【管理目的】

- 地域住民の憩いや環境教育、レクリエーションの場として、また、地域の生物多様性保全に貢献することを目的とする。
- “里山文化の継承と創造”をテーマに掲げ、地域住民主体の里山活動や各種イベントを定期開催している。

【サイト概要】

- 東京都八王子市東南部に位置する面積約20haの総合公園。
- 主な植生はコナラ・クヌギ主体の薪炭林に由来する雑木林。
- ため池、水田、草原など二次的自然環境に特徴的な各種の生態系を有し、多様な動植物が生息する。

【サイト周辺の状況】

- 長池公園が位置する多摩ニュータウン西部の通称“ライブ長池地区”は、1990年代前半に大規模な住宅開発が行われた地域である。
- かつて存在した谷戸の地形や植生はその大半が失われ、長池公園を含む都市公園等に残されるのみとなっている。

【土地利用の変遷】

- 薪炭林由来の雑木林と2つの灌漑用ため池を中心に、開発前の集落の暮らしを支えてきた里山環境が維持保全されている。現在では、主に地域住民の憩いの場として親しまれているほか、レクリエーションとしての里山保全活動が住民主体で精力的に行われている。

【活動のアピールポイント】

- 地域住民主体の多様な里山活動の継続と、創意工夫を凝らした自然保全型の公園管理運営を大きな柱としている。ユーザーである地域住民が自ら里山に手を入れ、気軽に公園づくりや自然保護に参画できる場所を目指している。
- 環境省の重要植物群落に指定されているハンノキ林をはじめ、都内屈指の生物多様性を有する。

区域全体図・写真①



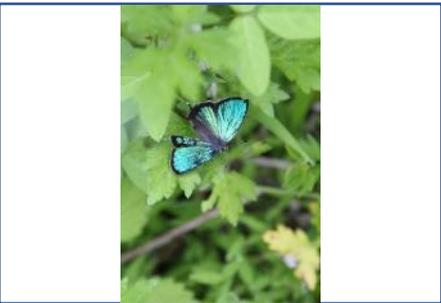
区域全体図・写真②



【生物多様性の価値、管理内容およびモニタリングの概要(1/3)】

生物多様性の価値		生物多様性の価値の概況	管理内容	モニタリング概要
(1)	 <p>ハンノキ群落</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境省生物多様性保全上重要な里地里山、および、環境省特定植物群落（特別保全ゾーン内ハンノキ群落）に指定されている。 ・モニタリングサイト1000里地調査一般サイトに登録している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・里山環境の適正な管理・活用。 ・ハンノキ林を含む水源地の閉鎖管理と月1回程度の手入れ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園内に自生する96種類の絶滅危惧植物を随時モニタリング。 ・センサーカメラ等を用いた哺乳類の定期モニタリング。 ・オオムラサキの幼虫等の指標生物を適宜モニタリング。
(3)	 <p>水田</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・里山林や水田、ため池、草地等から成るモザイク的な環境が形成されており、それぞれの環境に特徴的な動植物が生息している。 ・里山林の主な植生はコナラ・クヌギの雑木林である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・里山林においては、冬期を中心に下草刈りや計画伐採を行い、生物多様性の維持・向上を図っている。 ・水田においては、無農薬栽培を実施し、水生生物等の生息に適した環境を維持している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園内に自生する96種類の絶滅危惧植物を随時モニタリング。 ・センサーカメラ等を用いた哺乳類の定期モニタリング。 ・オオムラサキの幼虫等の指標生物を適宜モニタリング。
(4)	 <p>地域の中学生による植物保全作業体験</p>	<p>【健全性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・哺乳類11種、鳥類120種、両生類6種、爬虫類16種、魚類7種、トンボ59種、植物約800種が確認されている。 <p>【生態系サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・谷戸は、科学的研究や環境教育の対象地としても活用されている（文化的サービス）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境ごとに種相の異なる生態系のバランスを考慮し、ゾーニングを図り適正に管理を行っている。 ・創意工夫を凝らして生物多様性の向上に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同定可能な全ての動植物（分類群）について随時モニタリング。 ・センサーカメラ等を用いた哺乳類の定期モニタリング。 ・オオムラサキの幼虫等の指標生物を適宜モニタリング。

【生物多様性の価値、管理内容およびモニタリングの概要(2/3)】

生物多様性の価値		生物多様性の価値の概況	管理内容	モニタリング概要
(5)	 <p>炭焼きの様子</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公園アドプト団体「長池里山クラブ」が園内の発生材を利用して炭焼きやどんど焼きを実施。 ・公園アドプト団体「由木メカイの会」が園内のアズマネザサやメダケを活用して伝統文化であるメカイカゴ作りを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園アドプト団体「長池里山クラブ」が主体となり、雑木林等の適正管理と定例イベントを実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メカイの活用に適したアズマネザサおよびメダケの分布や生育状況をモニタリング。 ・活動やイベントの参加者人数、および、生成した炭の量等は、公園アドプト団体「長池里山クラブ」が記録。
(6)	 <p>ミドリシジミ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・絶滅危惧植物が全96種自生する。 ・ハンノキ林に生息するミドリシジミ、および、希少湿生植物群は南関東において、大変貴重である。 ・その他、希少性の高い動植物が多数生息している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絶滅危惧植物全96種および希少性の高い自生植物においては、個々の種について、それぞれ適切な保護増殖対策を実施。 ・希少生物の生息を考慮し、ゾーニングを図り適正に管理を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絶滅危惧植物全96種は、年1回以上の自生地モニタリング。 ・ハンノキ林内の希少植物生育状況を年3回程度、モニタリング。 ・埋土種子発芽植物の発生状況を年3回程度、モニタリング。
(7)	 <p>埋土種子発芽植物の保護育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長池のかいぼりによって61年ぶりに再生を遂げた、東京都野生絶滅種を含む水生植物群は、南関東において大変貴重である。 ・タマノカンアオイ等、全国的に分布範囲の限られる地域固有植物が、園内に生育している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンノキ林を含む水源地の閉鎖管理と月1回程度の手入れ。 ・かいぼりや泥さらいによる埋土種子を含む泥土の採取、および発芽植物の保護育成。 ・各種地域固有植物の自生地保護。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンノキ林内および湿地周辺の希少植物生育状況を年3回程度、モニタリング。 ・長池水際湿地の埋土種子発芽植物の発生状況を年3回程度、モニタリング。

【生物多様性の価値、管理内容およびモニタリングの概要(3/3)】

生物多様性の価値		生物多様性の価値の概況	管理内容	モニタリング概要
(8)	 <p>トモエガモ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・樹林地はキビタキ等の繁殖地、トラツグミ等の越冬地として多くの野鳥が利用している。 ・ため池はカワセミやサギ類の採食地となっており、トモエガモやオシドリなど希少な冬鳥の越冬も確認されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・繁殖および越冬する鳥類への影響を考慮した樹林地管理を実施。 ・中型哺乳類や猛禽類の生息エリアは原則、閉鎖管理。 ・実の成る低木類等の積極的な保護育成。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して、生息鳥類の目視による調査を実施。 ・年数回、特別保全ゾーン内で鳥類標識調査を実施。 ・10月～3月に月1回程度、越冬鳥類の目視調査を実施。